

講演会

# 「災害をきっかけにした 人づくりの国際支援」

参加費  
事前申込み  
不要

2017年3月11日(土) 13:00~16:00  
[開場] 12:40

会場 かながわ県民センター 3F 301会議室

住所: 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 「横浜駅」きた西口から徒歩約5分

阪神淡路大震災や東日本大震災などを経験した日本は、そこから得た知見を活かしながら国内外における災害支援に積極的に携わっています。災害発生時、最も脆弱な地域とされるアジア地域においても、日本から災害支援を行う団体が多数存在します。

アジア地域が災害に対して脆弱である理由として、根底にある貧困やインフラの発達が不十分であることなどが挙げられますが、それゆえに、災害支援においては一時的な支援だけではなく、このような問題解決に携わる地域の人づくり(担い手育成)が重要視されています。本講演会では災害をきっかけとした人づくりの国際支援に携わる方々から、具体的な事例について話を伺います。

## 基調講演者プロフィール

吉橋 雅道 特定非営利活動法人 CODE海外災害援助市民センター 事務局長

十代より東洋の武道や医学を学ぶ傍ら、アジアや南米の先住民・少数民族支援のNGO活動に従事。阪神淡路大震災での足湯ボランティアを機に、CODE等の職員として国内外での被災地支援に従事。06年「いのちをまもる智恵」を出版。13年CODE事務局長に就任。16年NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」に出演。



CODE海外災害  
援助市民センターとは

阪神淡路大震災での経験と知見を活かし、幅広い智恵や能力をもつ企業、行政、国際機関、研究機関、NGOなどを含めた市民の集まる場として2002年1月17日に発足しました。市民と協働して、海外の被災地の生活再建・復興を中・長期的な視点で被災地に寄り添いながら支援します。

## プログラム

13:00 開会  
13:15 基調講演 吉橋 雅道(特定非営利活動法人 CODE海外災害援助市民センター 事務局長)  
「災害をきっかけにした人づくりの国際支援」

14:15 休憩  
14:20 パネルディスカッション

モデレーター: ジギャン・クマル・タパ(公益財団法人かながわ国際交流財団)

パネリスト: 吉橋雅道(特定非営利活動法人 CODE海外災害援助市民センター)

小野行雄(特定非営利活動法人 草の根援助運動)

丸谷士都子(特定非営利活動法人 地球の木)

本セッションでは、かながわ民際協力基金\*の「緊急支援事業」で助成した団体のスタッフにもご登壇いただきます。

### ～かながわ民際協力基金緊急支援事業助成プロジェクト～

特定非営利活動法人 草の根援助運動

「フィリピン台風30号被害漁村復興のための住民組織化を基盤とする漁船支援プロジェクト」2014.4.1~9.30

2013年11月の台風30号により甚大な被害を受けたフィリピン共和国東サマル州の3村において、漁民組織の強化または結成を支援し、漁民の相互扶助を基盤として、漁船供与を中心とした生計回復を実施する。あわせて女性組織の結成を支援し、女性組織のイニシアティブによる生計回復のための支援を実施する。

特定非営利活動法人 地球の木

「地震の被害を受けた学校のためのラーニングセンターの建設」2015.11.2~2016.10.31

2015年4月25日の大地震の被害に遭った、ネパールカブレ郡マンガルトール村の2つの小学校に対し、2教室からなる校舎をネパールNGOのSAGUN a search for harmony(代表者Dr. Mukta Singh Lama)と共同で建設する。

16:00 閉会

## パネリスト紹介

**小野 行雄** 特定非営利活動法人 草の根援助運動 事務局長

NGO草の根援助運動事務局長として、インド・インドネシア・フィリピンの支援に関わる。国際社会開発と開発教育が専門。かながわ開発教育センター理事、県立高校教員、県高校国際研事務局長。法政大学人間環境学部「NGO活動論」講師。



### 草の根援助運動とは？

国際開発援助NGO「草の根援助運動」は、インド・インドネシア・フィリピンの人々の支援とともに、スタディツアーや国内におけるセミナーなどの開発教育活動、アドボカシー（政策提言）活動などさまざまな活動を行っています。

**丸谷 士都子** 特定非営利活動法人 地球の木 理事長

学生時代、国際会議でカンボジアの人たちと出会う。その時からアジアが身近に。もっと知りたいと思う。1998年、初めて地球の木の支援地のひとつネパールを訪れる。長い道のりを歩いて識字教室に通い、ランプの灯の下で勉強する女性たちに衝撃を受けて以来、ネパールとの関わりが続いている。



### 地球の木とは？

ラオスやネパールなどのアジアの途上国において、開発のために生活が脅かされている人々が自力をつけて困難な状況を改善し、住民主体の地域づくりを行えるように、現地のNGOパートナーと協力しながら支援を行っています。また、紛争や自然災害の緊急支援も行います。

**ジギャン・クマル・タバ** 公益財団法人かながわ国際交流財団 事務局長

2000年に留学のため来日。09年横浜国立大学大学院博士課程（国際開発）単位取得後、当財団に就職。「ネパールと日本のかけ橋となること」を自身のミッションとし、神奈川県地方創生推進会議の委員も務めている。東日本大震災、ネパール大地震、熊本地震などの支援活動に従事した。震災を経験した両国の子どもとの交流を図るため「たまごプロジェクト」を立ち上げ、子どもが成長する手助けをしている。



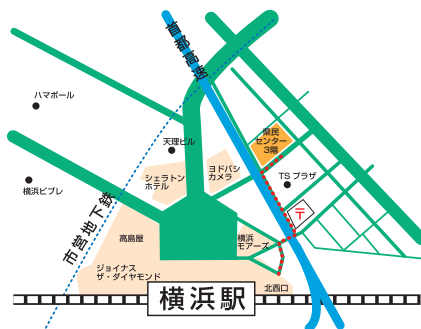
### たまごプロジェクトとは？

学校給食のないネパールの小学校で、子どもたちの心身の健康のために「ゆでたまご」をくばる取り組みです。食べ終わった卵の殻に色を塗り、モザイクアートを楽しみ、健やかな創造心を育みながら、傷ついた心のケアもしています。東北の石巻や気仙沼の子どもたちとアートや壁新聞の交換を通じて交流を続けています。

### ※かながわ民際協力基金とは？

貧困と飢餓、環境、人権、平和など地球規模の課題の解決と「共に生きる」開かれた地域社会作りを目指して1993年に設立されました。かながわのNGOなどが行う海外の開発途上地域での協力活動、外国人住民等を対象とした県内での協力・支援活動、民際協力の担い手を育成するための活動、NGOの育成・充実を図るための活動、災害時などの緊急支援活動、多文化共生の地域社会作りの活動などに資金助成を行っています。

## アクセス



### かながわ県民センター 3F 301会議室

横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

#### 【交通】

JR・東急東横線・みなとみらい線・京浜急行・市営地下鉄「横浜駅」きた西口より徒歩約5分

#### 【主催】



公益財団法人 **かながわ国際交流財団**  
Kanagawa International Foundation

\*この講演会は「市民活動フェア2017」への参加企画として開催いたします。

#### 【問い合わせ】

公益財団法人 かながわ国際交流財団  
担当: 西山、諏訪  
TEL: 045-620-0011  
ホームページ: [www.kifjp.org](http://www.kifjp.org)  
E-mail: [nishiyama@kifjp.org](mailto:nishiyama@kifjp.org)